

2013年8月6日



《 diXの新用途開発 》

羽毛よりも軽く、柔らかく装着感のないヘルスケアセンサーへの応用

東京大学大学院工学系研究科の染谷隆夫教授、関谷毅准教授を中心とした研究チームは、世界で最軽量、最薄の有機トランジスタ集積回路の開発に成功し、タッチセンサーに応用しました。

羽毛よりも軽く、柔らかく装着感のない樹脂製のセンサーは、ヘルスケア分野での応用が期待されています。

このセンサーに用いられる有機トランジスタ集積回路の有機封止膜として、KISCOグループ 第三化成株式会社のdiX-SRのコーティング膜が使用されています。

この研究内容は2013年7月25日発売の英国Nature誌 VOL 499 P460に掲載されています。